

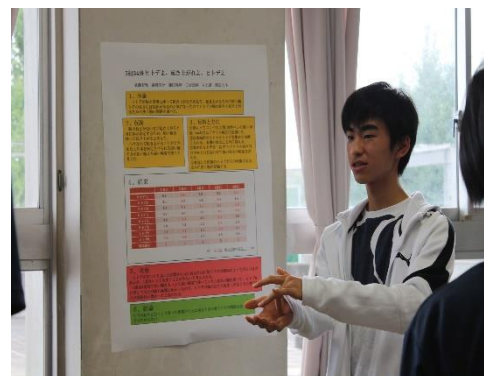
9 月 24 日にクラス毎で、10 月 11 日に全体で、73 回生による生物実習ポスター発表会が行われました。苦勞しながら作り上げたポスターを人前で発表するという初めての経験に、伝えることの難しさや達成感を多くの生徒が実感したようです。

9 / 24 ポスター発表会 (クラス毎)

9 月 24 日のポスター発表会は各教室で行われ、前半後半で発表班を入れ替えて生徒同士で評価し合いました。担任の先生や Teaching Assistant の先生からも評価をいただき、10 月の全体発表に向け、完成度を高めるいい機会になりました。

生徒の感想

- ・準備をしっかり行ったはずが、完璧には程遠い発表だった。
- ・班内では理解しあっている部分も初めて聞く人には説明が必要であり、聴衆の立場に立って考えることが大切だとわかった。
- ・予想外の質問をされることも多々あり、着眼点の違いに驚かされた。
- ・発表の方法に工夫を凝らしている班もあり、聞いていてとても参考になった。



※ TA (Teaching Assistant) : 一高OB・OGの方々に、私達のテーマ設定やポスター制作の手助けをしていただきました。

TAのコメント

発表ポスターのデザインのアドバイスを担当させて頂きました。ポスターアドバイザーの導入は例年には無いもので、皆さんのポスターが過去の先輩たちのポスターよりもレベルの高いものになったことをうれしく思っています。良いデザインの鉄則は“何を・より伝わりやすく・どう伝えるか。”決して文章だけのものや派手なものが第一ではありません。今回学んだことを今後の研究に活かしてもらえれば幸いです。

生物実習 TA 安藤正宣さん

ほとんどのグループで質問に何とか答えようとする姿勢が見えた点がよかったです。その一方で、「人に向けて話す」ことへの意識がまだ足りないように感じました。学術研究の発表は初めてであり、慣れない点多かったと思います。今後もこのような機会はあるので、ぜひ今回の経験を生かして次に臨んでください。

生物実習 TA 菊田真依子さん

10/11 ポスター発表会 (全体)

10月11日に行われたポスター発表会では、72回生の先輩方や保護者の方々に対して自分達の研究の発表をしました。この会は、校舎2階と3階の廊下・ホールにポスターを掲示し、聴衆の方がポスターの前で足を止めて発表を聞く、というかたちで行われました。終了後には、72回生の先輩方による評価が行われ、結果はボードに表示されました。

生徒の感想

- ・自分の中では良いと思っていたところが多く指摘され、客観的に自分達の研究を見ることができていなかったことに気づいた。今回もらった多くの指摘を来年の発表に生かしたい。
- ・他クラスや他学年の人たちに発表を見てもらうことで、プレゼン能力が上がるだけでなく、自分達の未熟さを示ることができた。今後の学術の研究内容の向上につなげていきたい。



72回生の先輩コメント

- ・研究対象の設定の仕方に説得力があまりなかったように感じた。また、数値化されていなかったり、結論を出すには根拠が足りないところがあったりした。しかし、原稿を見ずに発表するなどの努力は見られた。
- ・特定のメンバーに任せきりとなって、質問の返答をする人が決まっていた。質問対策をあまりしていなかったようで、その場しのぎの返答が多く見られた。



生物担当 佐藤祐太先生よりコメント

自分たちの研究成果の新しい点・オリジナルな点をはっきり強調できた班と、どこに注目したらいいのか分からない班との差が、非常に大きいと感じた。聴いてくれる人に研究の面白みが伝わらなければ意味が無いし、伝える中身が無ければどうしようもない。次の課題研究では、研究内容に不備や不足を残さないよう、すぐに予備調査やトライアル&エラーに取り組んでほしい。

編集後記

1年生の皆さんは半年間の生物実習の研究、お疲れ様でした。今回のポスター発表を含め今までの研究を振り返ってみて、どうでしょうか。ぜひ、上のTAの先生や先輩のコメントやアドバイス、今回の研究の反省を大いに生かしてこれからの学術研究を素晴らしいものにしていきましょう。